



第89号 発行所 富山県造園業組合連合会青年部
編集・広報部 事務局 〒931-8414 富山市浜黒崎843 関野 隆之

TEL 076-437-7687
FAX 076-437-7687

—CONTENTS—

- 部長のひとこと (2) (3)
- 滋賀研修旅行 (4)
- 高岡大石曳き (5)
- ホームページ講習会 (6)
- 各支部活動 (7)
- 部員紹介・編集後記 (8)





部長のひとこと

部長 村本 徹

心待ちにしていた若葉が一層色濃くなり、一年の半分が過ぎた事を改めて感じさせられる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

この半年の間、総会に始まり青年部全体、氷見支部も加わり各支部単位で更なる成長があつたと思います。

まずは二月に高岡支部を中心に、小矢部支部 西中君を含めた8名が中国福建省のアモイへ燈籠、石工品工場への見学ツアーハ行つてきました。

かねてより吉沢直前部長から「中國ちやスゴイ、一回行つてみられ。」

と言われていた通りで、まず街から石工場までの約2時間の道程は石の岩盤が削られて道路が作られ、削られた岩石が道端に無造作に捨てられているのです。想像もつかないでいるのです。想像もつかないでしよう！だつてそんなトコロ日本にはないですから……。さていよいよ工場が近付きました。広い道幅の両脇はほとんどが石工品の工場です。

燈籠、中国の昔の偉人像、色々な物があります。皆さんの事業所にある「これ中国製かな？」と思うもの、必ずそこにあります！ 欧米の映画に出てくる墓も作つていきました。



市場が日本だけでなく世界に向かっているのです。
工場の人も真剣に働いていて見学者には見向きもしません。取り組む姿勢も違います。工場の周りには仕上がった製品が今か今かと出荷を待っています。地球上の未来の需要分がすでにアモイにありました。皆さんご安心下さい。



三月には企画厚生部による滋賀県研修旅行があり、四月には中新川支部で「杉沢の沢杉でのボランティア活動」、高岡市での「大石曳き」に参加しての「庭の日」PR活動等業界の内外を問わず質の高い活動をしていると自負しております。（＊活動内容の詳細は連合会発行の「造園富山」を参照下さい。）

技能推進部ではホームページ講習会を行いました。オーセブンさんが言うように

「タウンページよりホームページ」という時代の流れを痛感させられました。実際私も、物を買う時や興味

がわいた事をヤホーで検索しています。

それの逆からの目線で「ガーデニング」、「庭」、「造園」等のキーワードでタウンページを開く様にホームページを開いてもらう。という感覚で青年部活動や造園という事を広くアピールできたらと思いを強くしました。

さて、私三月三十日に脚立より落下しまして圧迫骨折いたしました。

即入院となり 各イベントの不参加等、大変ご迷惑を掛けてしまいました。



本当に皆さんには申し訳ありませんでした。

あれは十一尺の脚立を使って剪定作業中でした。作業前は安全衛生上脚立の角度を75度以下に保ち階段上の傾きをかませ物で水平にし使用していました。しかし、脚立の横のシールにもあるように「天端に乗るな！」の注意を無視しておりました。

(日頃から...) だつて「登つて下さい。使つてください。」という風な形をしているんですもの。夢中で作業していると天端の重心をかけちゃダメな所(皆さんわかつてるでしょ。)に重心がかかつっていたのです。急に脚立は今までにない傾きをしました。「アカン！」右に倒れると下の石で頭を打つと判断し左へ飛び降りたのです。足が地面についた感覚はありましたが、尻もち状態で着地したのでしょう、もう立てなくなりました。現場の隣が病院という事がまだ不幸中の幸いと思うしかありません。私の巨体を看護師、

従業員のみんなが支えてくれて車椅子で病院に運ばれ入院。となりました。

一ヶ月後の四月三十日に退院となりました。入院中は後悔と反省の繰

り返しでした。第一に脚立の天端には乗らない。かませ物はしつかりした物を使う。倒れ止め予防の網をはる。という今後の課題と、会社の仲間、青年部の仲間、家族に迷惑をかけてしまった事、注意すべき立場の者が事故に遭っている事、親にもらった体に傷をつけてしまった事を深く反省しました。

最後に、庭には危険がいっぱい。とにかく安全第一。注意一秒、ケガ一生。

合掌





一日目は(株)辻井造園の辻井博行氏の作庭した“本家鶴喜そば”的庭を見学しました。前庭は蕎麦打ちをイメージした石庭で中庭は比叡山と琵琶湖を模した築山式枯山水で折鶴を模した景石を本家鶴喜そばと位置に参加しました。

づけ「折鶴石」と名付け「折鶴の庭」と名付けられたそうです。またこの庭園は周囲から見渡せるよう回遊式になつており山々と湖を様々な角度から楽しんでもらえるように工夫されていました。その後は、里防の町坂の石積を見て回り、旧竹林院や三井寺などを見学しました。



広瀬

(富山中部支部)
徹

滋賀県研修旅行



二日目は安土城跡、大池寺の小堀遠州作の蓬莱庭園等を見学しました。中でも安土城跡の石段は急で登るのに息をきらしましたが展望台(本堂跡)からの眺めは最高でした。
一泊二日の短い時間でしたが非常に楽しい、また充実した研修旅行となりました。



先日は青年部の皆様方及び関係者の方々、お疲れ様でした。

普段ならユニックを使用しての石の扱いを今回は人力という事で、どうなる事かという不安もありました。天候にも恵まれ桜吹雪の舞い散る中、全員協力のもと見事優勝(ーー?)完走することが出来ました。よくマ

高岡・大石曳き

前田 淳
(高岡支部)



ラソン中継などで「心臓破りの登り坂」といわれていますが身にしみて実感、味わう事となりました。次回は武者行列?という高岡開町のメインイベントが9月に行われます。また皆様方の参加協力で造園青年部を盛り上げていきましょう。





五月十六日、レストラン越州会議室にてホームページ体験とCAD講習会がオーセブンさん講師のもと行されました。

講習会では、ホームページの活用法や時代のニーズについて講義を受け、実際に画像やコメントを入れてホームページを作りました。私の場

ホームページ講習会

斎藤正紀（富山中部支部）

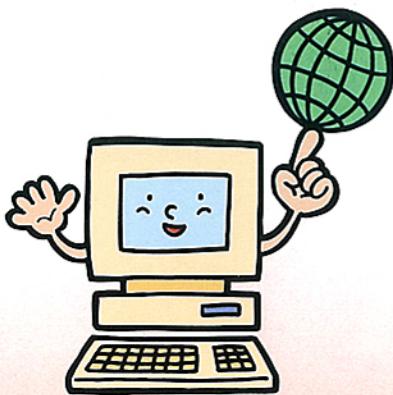


合、家でパソコンを使うといつても調べ物をネットで検索したり、事務仕事で少々使うくらいでパソコンの知識は全く無いのですが、オーセブンさんの専用ソフトを使って作業するも、私のような素人でも案外できました。（わからんようになつたら、すぐ教えてもらえたからなんですが）



ど…でも、あれだけわかりやすいと作る楽しみもあり、ホームページを作ることが出来たと思います。すでにネットの時代らしいので、ホームページやブログのことも考えつつ、人と会ってこそ出来るコミュニケーションも大事にして日々精進していきたいと思います。

技能推進部のみなさま有意義な講習会を行つていただきありがとうございました。



各支部活動

南砺支部 (澤田 大輔)

技能奉仕活動を終えて

南砺支部の沢田です。我々南砺支部は毎年3月末に井口椿公園で行われる椿祭りに合わせて公園内で竹製モニュメントの作成に青年部技能奉仕活動での参加となりました。製作日は3月15日(日) でちょうど椿祭りの1週間前です。作成するモニュメントはモウソウ竹を使い雪吊りをイメージした形の物です。大きい物で10m位の物、それと6m、5mの計3基です。

作成を終えて心配だった事はちょうどこの時期、山からの吹きおろしの強風が吹くことでしたが幸い、21日、22日の椿祭りまで大きな風が吹く事無く無事に終われた事が何よりです。



中新川支部 (大村 充)

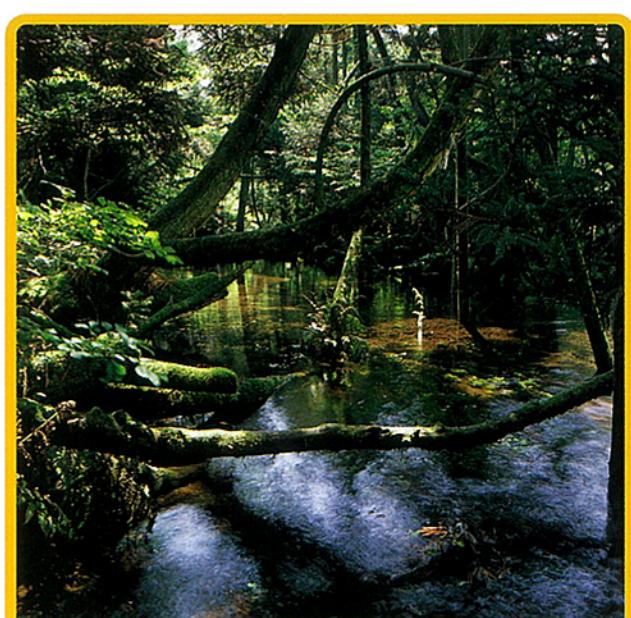
沢杉清掃活動を終えて

4月11日土曜日、入善町杉沢にある国指定の天然記念物「沢杉」にて中新川支部主催の清掃活動が行われました。

作業内容は例年通り沢杉の生育を阻害する下草や低木の刈取りでした。時折小雨の降るあいにくの天候でしたが皆さん手際よく作業を行い、五時間程で軽トラダンプに約十台程度の下草を刈取ることができました。

刈取りの終わった場所は地表まで陽光が届き、また風通しも良くなつたことで沢杉の生育に適した環境となり、入善町役場の担当者の方も大変喜ばれていました。

今後もこういった造園青年部の活動を通して地域の環境保護・整備に貢献していき、ひいては富山県全体の魅力創造につなげて生きたいと思います。





①会社名 ②生年月日 ③一言コメント

新入部員紹介

宮森 忍（小矢部支部）



平垣 太宏（富山中部支部）



①アイシン緑地（有）
②昭和52年9月29日 31歳
③今年から参加させていただいてます。

若いのでまだまだ腕や知識は劣りますが先輩の方々にご指導してもらいたいながら、自分の腕を磨いていきたいと

思います。

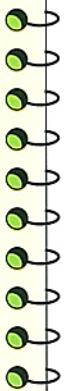
これからよろしくお願いします。



前号 おわびと訂正
前号「卒業」の欄で高岡支部の下さんの会社名が間違っていました。正しくは「伏木造園」です。おわびして訂正いたします。

関野 隆之
西中雄一郎

編集後記



皆さんご苦労様です。今年もあつという間に半分が過ぎてしまいました。青年部の上半期の活動をお届けします。協力していただいた皆様ありがとうございました。